

# Product Data

## 2成分室温硬化型自己接着性液状シリコーンゴム TSE3663

TSE3663は、2成分室温硬化型の自己接着性液状シリコーンゴムです。硬化と同時に金属、プラスチック、ガラスなどにプライマーなしで接着します。

### 特長

- プライマーなしで金属、ガラス、プラスチックなどに接着します。
- 深部硬化性がよく、金属の面接着も可能です。
- 硬化剤TSE3663R(B)との組合せで、UL94HB認定取得 (File No. E56745)

### 用途

- 金属等の面接着
- 電気、通信機器の絶縁防水シールおよびポッティング
- 計器類の防水、防塵、気密のための接着シール
- 回路基板の防湿コーティング

### 特性例

#### 硬化前

(JIS K 6249)

項目	硬化剤	
	本体 TSE3663 (A)	TSE3663 (B) TSE3663R (B)
外観	灰白色流動性	淡黄色液体 赤色液体
比重 (23°C)	1.19	1.01
粘度 (23°C) mPa·s {cP}	5,000 {5,000}	6 {6}
標準配合比 重量部	100 : 2	
混合後粘度 (23°C) mPa·s {cP}	4000 {4000}	
ポットライフ (23°C) h	0.5	
硬化時間 (25°C) h	24	

#### 硬化後 (23°C、3日)

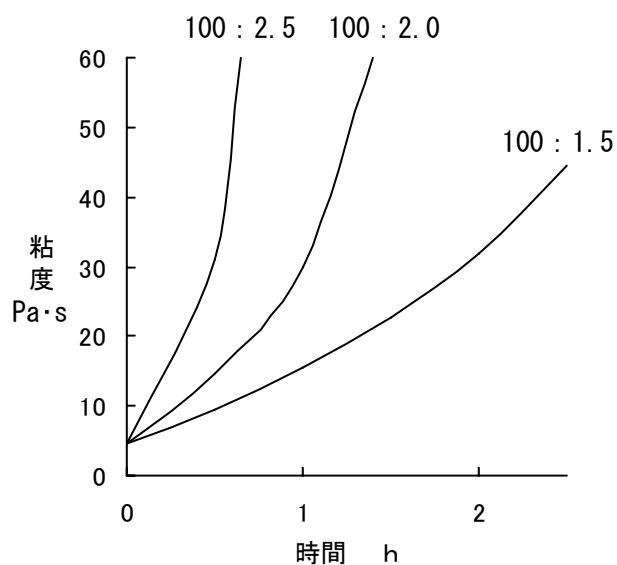
(JIS K 6249)

項目	特性値
密度 (23°C) g/cm <sup>3</sup>	1.20
硬さ (タイプA)	41
引張強さ MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	1.4 {14}
切断時伸び %	100
熱伝導率* W/(m·K)	0.27
体積抵抗率 Ω·cm	1.0 × 10 <sup>15</sup>

比誘電率 (60Hz)		3.1
誘電正接 (60Hz)		0.02
絶縁破壊の強さ	kV/mm	24

\* 社内試験法による

### 硬化剤添加量と粘度変化 (25°C)



### 硬化剤添加量と硬化後の物性 (硬化条件 : 23°C、3日)

項目	特性値			
	100:1.5	100:2	100:2.5	
(A) : (B) 混合比 (重量比)	100:1.5	100:2	100:2.5	
比重 (23°C)	1.19	1.19	1.20	
硬さ (タイプA)	30	42	47	
引張強さ	MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	1.1 {11}	1.4 {14}	1.8 {18}
切断時伸び	%	160	110	120

## 接着性

被着体の材質により接着性が異なりますので表を参照のうえご使用ください。また、メーカーや番手により、接着性が異なることがありますので、事前に試験してから使用してください。

被着体		(A) : (B) 混合比					
		100:1.5		100:2.0		100:2.5	
		引張せん断接着強さ MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	状態	引張せん断接着強さ MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	状態	引張せん断接着強さ MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	状態
金属	アルミニウム	0.83 {8.5}	○	0.83 {8.5}	○	0.92 {9.4}	○
	軟鋼	0.73 {7.5}	△	0.78 {8.0}	○	0.73 {7.5}	△
	ステンレス	0.84 {8.6}	○	0.65 {6.6}	△	0.81 {8.3}	○
	銅	1.03 {10.5}	○	0.93 {9.5}	○	0.75 {7.6}	○
	ニッケルメッキ	0.75 {7.6}	○	0.77 {7.9}	○	0.86 {8.8}	○
	トタン	0.42 {4.3}	×	0.42 {4.3}	×	0.58 {5.9}	×
	ブリキ	0.49 {5.0}	×	0.52 {5.3}	×	0.46 {4.7}	×
プラスチック	フェノール樹脂	0.69 {7.0}	△	0.76 {7.8}	△	0.90 {9.2}	○
	エポキシ樹脂	0.55 {5.6}	○	0.52 {5.3}	△	0.93 {9.5}	○
	ポリエステル	0.83 {8.5}	×	0.87 {8.9}	○	0.92 {9.4}	○
	PBT	0.21 {2.1}	×	0.25 {2.5}	×	0.43 {4.4}	×
	ポリカーボネート	0.74 {7.5}	○	0.90 {9.2}	○	0.81 {8.3}	○
	PPS	0.22 {2.2}	×	0.45 {4.6}	×	0.72 {7.3}	△
	アクリル樹脂	0.00 {0.0}	×	0.10 {1.0}	×	0.24 {2.4}	×
	ABS樹脂	0.23 {2.3}	×	0.31 {3.2}	×	0.47 {4.8}	×
	変性PPO	0.20 {2.0}	×	0.16 {1.6}	×	0.26 {2.7}	×
	硬質塩化ビニル樹脂	0.43 {4.4}	×	0.79 {8.1}	○	0.87 {8.9}	○

注) 試料部の破壊 ○ : 80~100%、△ : 20~ 80%、× : 0~ 20%

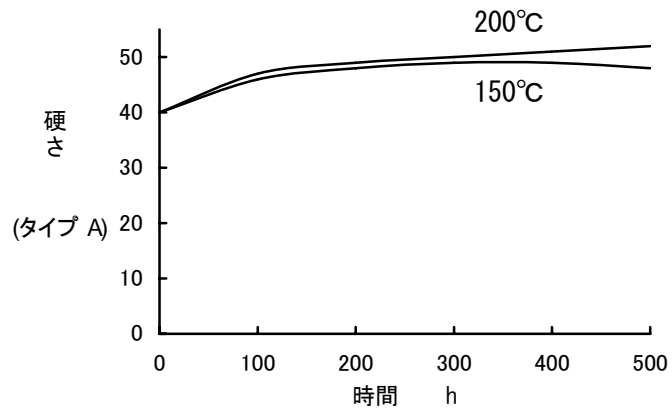
硬化条件 : 23°C、4日

## 耐熱性

硬化条件 ---23°C、3日

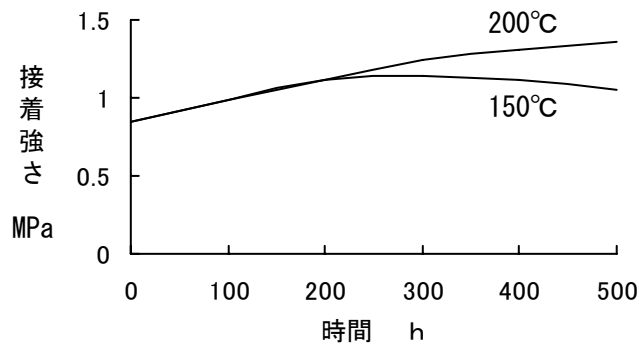
配合比 ----- (A) : (B)=100 : 2.0

### 硬さ



### 引張せん断接着強さ

被着体 ----- アルミ



## 使用方法

- 本体の充填剤が沈降している場合がありますので、あらかじめよくかきまぜてください
- 本体と硬化剤をよく混合してください。本体：硬化剤の標準混合比は100：2です。なお、硬化剤の添加量により、硬化速度が調整できます。

## 取扱い上の注意

- 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- 局所排気装置を運転し、換気をよくして作業してください。

## 保 管

- 直接日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

## 荷姿・梱包

- TSE3663 (A) : 1kg金属丸缶(10個/1ケース)、18kgペール缶
- TSE3663 (B) : 30gガラスビン(20個/1ケース)、500gガラスビン(10個/1ケース)
- TSE3663R (B) : 30gガラスビン(20個/1ケース)、500gガラスビン(10個/1ケース)

## 消防法

- TSE3663 (A) : 指定可燃物 可燃性液体類
- TSE3663 (B) : 危険物第4類第2石油類
- TSE3663R (B) : 危険物第4類第2石油類

発行：1998年6月/改訂©2009年1月

---

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。  
・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。  
・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。  
・安全性に関する詳細な情報につきましては、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。  
・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。

---



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<http://www.momentive.jp>

テクニカルアンサーセンター  
東京本社(営業)  
大阪支店  
名古屋支店  
九州営業所

TEL.0276-20-6182, 0120-975-400 FAX.0276-31-6259  
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122  
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-6252-8255  
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750  
TEL.092-741-0840(代) FAX.092-741-0841